

事 務 記 録

|     |   |     |                    |
|-----|---|-----|--------------------|
| 議 題 | 令和5年度第2回三条市公立大学法人評価委員会  |     |                    |
| 日 時 | 令和5年8月18日(金)<br>午後2時～午後2時15分  | 場 所 | 市役所本庁舎<br>3階 第一会議室 |
| 出席者 | <p>評価委員：和田 裕 委員長、清水 善廣 委員、勝見 悦行 委員、<br/>清水 希容子 委員(オンライン)、山口 隆司 委員(オンライン)</p> <p>事 務 局：本間総務部長、小林行政課長、西澤課長補佐、<br/>赤川行政課庶務係主任</p>  |     |                    |
| 概 要 | <p>次第1 開会<br/>事務局進行</p> <p>次第2 委員長挨拶</p> <p>次第3 令和4年度に係る業務実績評価について<br/>事務局(小林行政課長)から説明</p> <p>(和田委員長)</p> <p>今ほど小林課長から説明があったが、特に事業単位評価については、事前に皆様のお手元にあり御覧になられていると思うし、その前の資料においても各委員からのコメントが記載されたものを御覧になられていると思うので、全体についてここがおかしいとかもうちょっとこうした方がいいなどあったら御意見を賜りたい。</p> <p>基本的に私が最後にまとめさせていただいたが、個々については委員の評価がA、B、Cとばらつきがあるが、それらをトータルに判断した上で、全体の意見として従っていただいたところである。そのようなことも踏まえながら、特に勝見委員の場合、知的ものづくりセミナーについての評価がいろいろな項目で高かったが、最終的な評価項目がBだったので、そこは御理解願いたい。</p> <p>(勝見委員)</p> <p>地元ということもあるし、地元新聞などへの広報も上手かったので高い評価をつけさせていただいた。</p> <p>(和田委員長)</p> <p>山口委員からは他の大学への進学状況について、これでいいのかと疑問が出ていた。その意見を踏まえながら、推薦入試や様々な便宜を図ることを地元大学とこれからも協議していくという形にさせていただきたい。</p> |     |                    |

(清水(善)委員)

資料を読ませていただいて非常によくまとまっていると感じた。

(勝見委員)

設立から関わることができて嬉しい。

(和田委員長)

特に入学者はすごいと思う。

これで次々年度、就職状況が見えてきたら、万々歳になるかどうかというところである。

清水希容子委員は、御覧になられていかがか。

(清水(希)委員)

こちらでよろしいと思う。

(和田委員長)

山口委員はいかがか。

(山口委員)

これで大丈夫である。

(和田委員長)

では、異存ないので、まとめに入らせていただく。

この評価書原案を地方独立行政法人法第 11 条第 2 項第 2 号に基づく令和 4 年度公立大学法人三条市立大学業務実績に関する評価書として、同法第 78 条の 2 第 4 項及び第 5 項のとおり公立大学法人に通知する。

その旨を三条市長に報告するが、よろしいか。

(一同) 異議なし。

(和田委員長)

御異存ないので、その方向で進めさせていただく。

では、皆様から御承諾いただいたので、正式な評価書として公立大学法人及び三条市長に報告させていただく。なお、本件については公表することになっているので、事務局から市のホームページで公表してもらう。

公表は市のホームページか、大学のホームページか、両方か。

(小林行政課長)

両方で公表する。

(和田委員長)

以上で令和5年度の評価委員会は終了とさせていただきます。

次第4 閉会